

南砺市学校教育で目指す子供像
ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓く なんとっ子

平中学校 学校教育目標
郷土に誇りをもち 心豊かに たくましく 学び続ける 生徒の育成

重点目標

知：学び合う
○知識及び技能を身に付け、自信をもって活用したり、自己表現したりする。

徳：共に生きる
○互いのよさや可能性に気づき、共に高め合う。

体：やり抜く
○夢や希望の実現に向かって挑戦し、粘り強く努力する。

平中アクションプラン2023

重点目標を達成するための具体目標及び数値指標

知：学び合う
学校でも家庭でも進んで学習に取り組んでいる生徒
85%以上

徳：共に生きる
互いに高め合う行動や声かけを実践している生徒
85%以上

体：やり抜く
規則正しい生活を実践する生徒
85%以上

具体目標を達成するための方策

- 「学びの心得」の定着によって、確かな学力を身に付ける。
 - ・年度初めに「学びの心得」が基礎を身に付け、表現力を高めるために必要であるという意識付けをする。
 - ・ESDの視点で、「学びの心得」の内容を精選する。
 - ・定期的に自己評価を行い、自分自身を見つめ直す機会をつくる。
- 家庭学習の習慣化を図る。
 - ・各学年で家庭学習の目安となる時間を考えたり、各自の家庭での時間の使い方を見直したりすることで、確保できる自分の家庭学習時間を効果的に活用できるよう指導する。
 - ・定期考査では家庭学習の内容や時間の計画を立て、教科担任や学級担任が学習指導を随時行う。
- 主体的に学び、表現できる生徒の育成のための授業改善を図る。
 - ・授業展開の中でタブレット端末等のICT機器を効果的に活用する方法を工夫する。
 - ・「分かる」「できた」を実感できるように授業の振り返りの場や方法を工夫したり、評価を指導に活かしたりする。
 - ・自分の言葉でまとめたり、発表したりしようとする意欲を高め、表現力を育成する。

評価の時期 7月、12月
評価の方法 ① 生徒 ② 教師 ③ 保護者
具体目標の達成率
7月()%、12月()%

- 生徒が相互に高め合う人間関係づくりを推進する。
 - ・学級活動や生徒会活動、学校行事等で一人一人が役割を果たし、達成感や所属感、喜びや感動を共有できる場を工夫する。
 - ・肯定的な振り返りを大切にしたい相互評価の場を設定する。
- 「いじめ」を許さない雰囲気をつくる。
 - ・心の通じ合うコミュニケーション能力を育み、道徳教育や人権教育を推進しながら、他を思いやる心や善悪の判断力を育てる。
 - ・「生活の記録」等の生徒の記述や行動、「いじめアンケート」や教育相談、スクールカウンセラーとの面談を通して、気付いた情報を職員間で確実に共有し、速やかにする。
- 相手を意識して、挨拶や感謝の言葉を伝える習慣をつくる。
 - ・登下校時、授業の最初と最後、部活動等での元気な挨拶を日常的に実践し、互いに評価し合う場を設定する。
 - ・来校された方や地域の方への挨拶や、お礼の言葉を自分から伝えられるよう指導する。

評価の時期 7月、12月
評価の方法 ① 生徒 ② 教師 ③ 保護者
具体目標の達成率
7月()%、12月()%

- 規則正しい生活習慣（早寝・早起き・食事・運動・休養）の形成を図る。
 - ・とやまゲンキッズ作戦の結果や生活の記録を基に生活習慣の様子を把握する。
 - ・家庭学習時間や睡眠時間を確保できるように、指導する。
 - ・栄養教諭・養護教諭による食に関する指導や心と体の健康に関する指導の充実を図る。
- 学習と両立するメディアの利用を推進する。
 - ・メディア（ゲーム、SNS、動画等）の利用と家庭学習との両立ができるよう指導や生徒会の活動を工夫する。
 - ・生徒委員会を中心に、定期的に「平中ネットルール」を見直す機会を設け、マナーを守ってメディアを利用できるようにする。
- 保護者との連携を図る。
 - ・授業参観や保護者会等の機会を捉えて「我が家のメディア利用ルール」、「平中ネットルール」の定着について、協力を呼びかける。

評価の時期 7月、12月
評価の方法 ① 生徒 ② 教師 ③ 保護者
具体目標の達成率
7月()%、12月()%